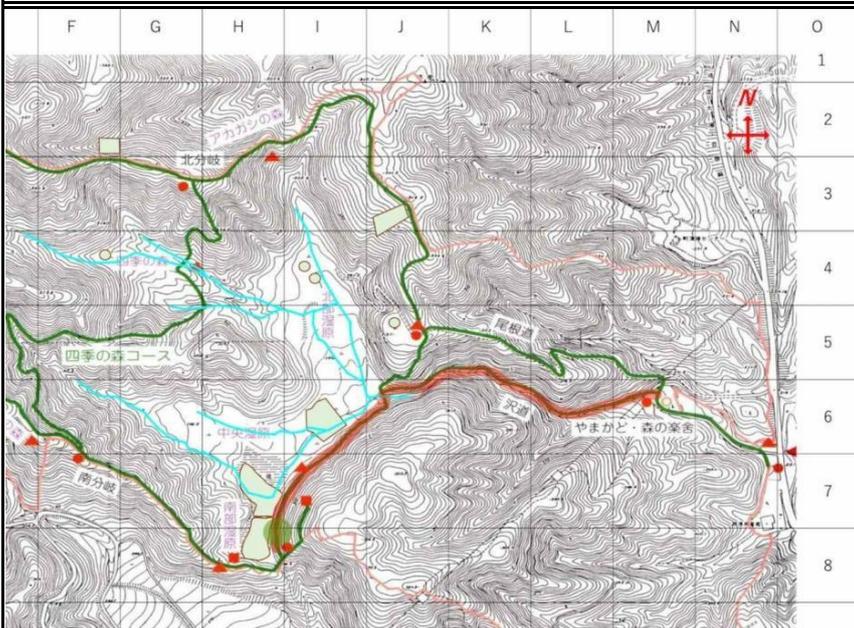


活動日時 2025 年 04 月 19 日(土) 8 時 30 分～17 時 30 分 天候 晴れ

入山者 一般組 36 / 気温 16.5℃ (9:00) / 当番:小谷

希少種保全・獣害防止・現状調査・環境学習・体験指導・ガイド・森林整備・施設整備・関係団体との連携

■保全活動①佐野、瀧澤、金澤、浅井、橋本、井下山、小寺、中野、富岡②西村、宇城、久保寺、藤本 H③藤本 K、藤本 C、村田、小谷④西川、伊藤⑤田中 S、田中 T



移動ルート (赤) 作業場所 (緑)

<実施活動内容> 保全活動日、参加者 21 名。  
 ①南部～中央ササユリ保護ネット設置② 北部湿原ハンノキ除去③進入路ネット、楽舎周辺整備 ④ブナの森コース保全⑤水調査に分かれて作業。  
 ササユリ保護ネット設置の班は工程として、一部先行して支柱固定用のプラ杭を打ち込んでいたので、支柱建てから開始。結束方法としてマキ結びの練習をしてから結束を開始。分業で、杭打ち、支柱建て、ネット張り(二重)、ネットの裾止めに自然に分かれて作業。南部斜面側のネットが閉じられ、中央湿原の山側斜面の一部まで設置。

下山後、各班の振り返りをして終了。  
 午後 2 時から理事会。主に現地交流会について協議。5 時まで。  
 理事会終了後、現地交流会企画会議を 6 時まで。企画会議終了後、事務局会議を 6 時半まで。  
 <観察・特記事項> 青色 15cm メッシュの防獣ネットは、積雪前に解体し、畳んで撤収します。その時に支柱を芯にして巻き取って片付ける方法は、撤収方法としては効率が良いかもしれませんが、そのネットを春に使うときは、逆に広げにくいし、ちょっとした誤動作で絡まり、気付くのが遅いと深刻な絡まり方になって仕事が全く進みません。今日はそんな 1 日でした。

私はカケ矢でプラ杭を打ち込む係でしたが、久々連日カケ矢打ちをしたので、握力がなくなりました。打ち込む振動を耐えた掌は、夜 23 時になっても痺れたままです。  
 2012 年の階段直し時は苗村さんと二人で延べ数百段の階段の杭打ちをしましたが、手の痺れが止まらないのはその時以来でしょうか。久々に懐かしい日々を思い出しました。



マキ結びの練習



進まないネット張り



中央湿原の山斜面側の裾止め



振り返り



理事会



現地交流会 企画会議